

岩崎神社春季大祭



お祓いを受けるJAやつしろい業部 他の関係者一同



祭りを祝っての樽開き(左より、加来 誠一い業生産販売振興協会長(=JA組合長)、中村 博生市長、坂井 欣一い業協同組合理事、小野 泰輔 県副知事、小早川 宗弘 県議)

4月15日、岩崎神社で春季大祭が行われ、良質ない草の収穫、豊表の消費拡大と価格の高値安定を願って、生産農家を始めとするい業関係者らが玉串を奉納しました。

坂井 欣一 熊本県い業協同組合理事長は「産地偽装、作付けと農家戸数の減少など、問題が山積しています。い産業を盛り上げ存続させるため、ご協力をお願いします」と話されました。来賓の小野 泰輔 熊本県



有志がカラオケを披露



量の歌を熱唱する 716 さん

会場では、JAやつしろ中央い業部会が「米すくい」を、同JA東部総合支所が、お弁当の販売を行いました。

ステージでは、秀岳館高校の雅太 鼓の力強い演奏、昨年発表された「八代い草音頭」や大鞘名所、JAい業部員やJA青壮年部員や生産者らがカラオケを披露しました。また、福岡の量の4代目で歌手の716 さんが量の歌を熱唱しました。

副知事は「量は『日本人の心』熊本県は関係者と協力して、い草を守って行きます」とあいさつされ、加来組合長は「い産業を盛り上げて行く事を目標に、地に足を付けて頑張つて欲しい。力添えをお願いします」と協力を求めました。

高品質トマトの量の確保を市場が求める

八代地方トマト・ミニトマト出荷反省会



生産者の質問に応える、市場の担当者

4月15日、八代地方トマト・ミニトマト出荷反省会(春トマト中間検討会)が、生産者、市場関係者、行政関係者、JAなど約140人を集め、セレクトロイヤル八代で開かれました。

生産者と販売担当者から、6月までの販売方針についての質問が出されると、市場関係者は、精度の高い生育・出荷情報の発信を求め「その情報を元に先手先手の販売戦略を立て、売り場を確保しつつ販売を行う」

と答えました。市場が求めるトマトについては「高品質なトマトで、量を確保したい。低品質なトマトは当然価格が安い」との認識が示されました。

隠れた脅威として、業務用トマトの輸入量が、8629tで前年比134%と増加していることが報告されました。

また、スマホ用のゲームアプリが、PR用販促グッズとして紹介発表されました。26年産はちべえトマトの出荷が始まる10月に合わせて一般公開予定の「はちべえトマト育成」シミュレーションゲームで、楽しく遊びながら、はちべえトマトの認知度を高め、購買促進へ繋がります。詳しくは「はちべえトマト」のホームページで紹介されています。



この日紹介された、ゲームアプリ(PC上で再現プレイ)

11



牡羊座
3/21 ~ 4/19

♥全体運♥ ゆったり過ごせば、英気を養える時期です。近場の温泉でのんびりしては。趣味や楽しみに熱中するのも大賛成

♥健康運♥ 無理は禁物。リラックスを心掛けると◎
♥幸運を呼ぶ食べ物♥ キクラゲ